

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）：農学研究科

岩手大学大学院農学研究科は、農学生命専攻、応用生物化学専攻、共生環境専攻、動物科学専攻、バイオフィロンティア専攻から成り、研究科の学位授与の方針に対応して、研究科共通の「研究基礎科目」および各専攻独自の科目を配置し、教育課程を編成している。

研究基礎科目は専攻に関わらず必要となる基本的、汎用的な能力を身につけさせる事を目的とし、いくつかの科目を設けている。

（情報分析力・語学力・コミュニケーション力等の汎用的能力）

1. 農学分野で必要とされる情報分析力・語学力・コミュニケーション力等の汎用的能力を身につけさせるため、「科学技術英語」、「研究企画デザイン演習」を配置している。

（研究成果の発表等）

2. 学会等での発表を行うことにより、研究成果を発表する能力を身につけさせることを内容とする「研究推進演習」を課している。また、「科学技術英語」では英語による研究発表ができるようになることを目標としている。

（社会への貢献）

3. 修得した知識・能力を基礎に社会へ貢献できるようになるための準備として「インターンシップ」を配置している。また、「ベンチャー企業論」では起業、知的財産管理などの基本的知識を提供している。

各専攻独自の教育課程の編成は以下のようになっている。

◇農学生命専攻

（専門分野の基礎的な知識）

1. 農学・生命科学分野における作物、蔬菜花卉、果樹の育種・機能開発分野および食料生産施設、機械システム、流通、経営、資源循環などの生物産業関連分野において必要な基礎知識を身につけさせるために、研究教育重点授業科目を配置している。

（専門分野の応用的な知識）

2. 上記の応用知識を身につけさせるために、高度専門教育重点授業科目を配置している。

（専門性に基づいた問題解決能力）

3. 上記の知識と理解に基づき、高度専門技術者あるいは研究者として農学・生命科学分野における未知の課題を見出し、かつ、それを解決する能力を身につけさせるために、生物資源科学特別講義ならびに「生物産業科学特別講義」を配置し、また修士論文執筆と研究成果の発表を内容とする「農学生命特別研究」を課している。

◇応用生物化学専攻

（専門分野の基礎的な知識）

1. 応用生物化学専攻で必要とされる専門分野の基礎的な知識を身につけさせるために、生化学・酵素化学系の科目、栄養・食品科学系の科目、生物圏科学系の科目を提供している。

(専門分野の応用的な知識)

2. 専門分野での応用的な知識を身につけさせるために、複合的で広範囲な高度専門領域に関する科目を配置している。

(専門性に基づいた問題解決能力)

3. 修得した知識・能力を基礎に、専門性に基づいた問題解決能力をつけて社会貢献できるようにするために、「応用生物科学特別講義」を配置し、また修士論文執筆と研究成果の発表を内容とする「応用生物化学特別研究」を課している。

◇共生環境専攻

(専門分野の基礎的な知識)

1. 共生環境専攻において基礎的な知識と技能を修得するために、農山村地域の生産環境、物質循環および生態系に関する研究教育重点授業科目を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

2. 上記の応用的な知識と技能を修得するために、高度専門教育重点授業科目を配置している。

(専門性に基づいた問題解決能力)

3. 修得した知識と技能により農山村地域を中心とした生産活動において人と自然の共生に関する創造的課題に取り組み解決する能力を身につけさせるために、「共生環境学特別講義」等の集中講義を配置し、「共生環境特別研究」において研究に取り組み修士論文を執筆する。

◇動物科学専攻

(専門分野の基礎的な知識)

1. 動物科学分野を学んでいくのに必要な基礎的な知識を修得させるために、学部教育を深化させた形で研究教育重点授業科目を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

2. 専門分野について、より幅広く、且つ、深く学ぶために、応用面を考慮した上で高度専門教育重点授業科目を配置している。

(専門性に基づいた問題解決能力)

3. 修得した様々な知識・技能を用いて動物科学分野の社会的問題を解決するために、「動物科学特別講義」を置くことで、より多角的問題意識の高揚を図るとともに、「動物科学特別研究」を課すことで、全学生がそれぞれのテーマに沿った研究に取り組み、その成果の発表と修士論文を執筆する。

◇バイオフィロンティア専攻

(専門分野の基礎的な知識)

1. 最先端のバイオサイエンスおよびバイオテクノロジーに関する種々の生命現象の基礎的な知識、特に分子レベルにおける知識を身につけさせる事を目標として研究教育重点授業科目を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

2. 生命現象の分子メカニズムの理解を基盤として、人と生物の共生をめざした応用的能力を身につけさせるために、様々な生物の応用に関する高度専門教育重点科目を配置している。

(専門性に基づいた問題解決能力)

3. バイオサイエンス分野で国際的に活躍できる能力を獲得させ、問題解決できる能力を身につけさせるために、「バイオフィロンティア特別講義」を配置し、また修士論文執筆と研究成果の発表を内容とする「バイオフィロンティア特別研究」を課している。